



平成 24 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 ディナベック株式会社
代表者氏名 代表取締役社長 長谷川 護
本社所在地 茨城県つくば市大久保6番
問 合 せ 先 取締役管理部長 谷田洋平
電 話 番 号 029-877-5155(代表)

株式会社アイロムホールディングスとの戦略的パートナーシップ契約締結に関するお知らせ

ディナベック株式会社(本社:茨城県つくば市、代表取締役社長:長谷川 護、以下「当社」という)は、このたび株式会社アイロムホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森 豊隆、以下「アイロムホールディングス」という)と、当社が所有する先端的技术を利用した遺伝子創薬並びに細胞工学を活用した細胞・再生医療等の研究開発・事業促進を目的として、戦略的パートナーシップ契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、高性能かつ安全性の高いベクター技術(※1)を基盤技術として、遺伝子治療や遺伝子ワクチンを含む遺伝子創薬と、iPS 細胞(※2)や樹状細胞(※3)操作等の細胞工学技術に基づく細胞治療、再生医療技術の開発を行っています。これらの技術的成果の開発並びに導出、販売等を推進するため、アイロムホールディングスグループが保有する国内外での医療ニーズ並びに医療機関、医師等とのネットワークを通じたノウハウの提供を受けることとしました。

今般、当社と戦略的パートナーシップ契約を締結するアイロムホールディングスは、SMO 事業(※4)のパイオニアとして、国内に確固たる事業基盤を形成しております。また、アジア・オセアニア地域における企業との提携を基に、事業活動を海外へも展開しております。

当社は、今般の戦略的パートナーシップ契約を通じて、当社の保有する遺伝子治療や細胞工学を基にした細胞・再生医療等の最先端の医療技術にアイロムホールディングスグループのビジネスノウハウを加味する事で、国内外におけるそれらの臨床研究開発を促進し、事業の力強い柱建てと致します。これにより、当社は尚一層、医療・医薬の革新的な進歩と改革に邁進する所存です。

※1. ベクター技術

治療用の遺伝子を特定の臓器・組織に運搬し、効果的に標的細胞内へ導入する働きを持つ物質。その中でも、当社が独自に開発した「センダイウイルスベクター」は、従来のベクターとは全く概念が異なり、臨床研究や動物実験を通じ安全性が高く、遺伝子医薬品やバイオ製品分野での利用に高い信頼性と実績を有しております。

※2. iPS 細胞

induced pluripotent stem cell(人工多能性幹細胞)であり、体細胞に特定遺伝子を導入することにより樹立される幹細胞のことで、ヒト等の動物のあらゆる組織、細胞に分化する能力を持っています。京都大学の山中伸弥教授がノーベル賞を受賞されることが決まった革新的技術です。

※3. 樹状細胞

免疫を担う血液細胞の一種で、免疫の司令塔の役割を担う。樹状細胞が異物を認知すると、その異物に対する全身的な免疫反応を引き起こす。これを利用して、癌患者自身の樹状細胞を体外で調製して、患者に戻すことによって癌を治療する試みが行われている。

※4. SMO 事業

Site Management Organization の略で、一般的に治験施設支援機関と言われ、治験を実施する医療機関と提携し、治験を実施するための院内体制整備及び治験実務を支援する事業です。

会社概要

株式会社アイロムホールディングス

設立:平成9年4月9日

代表者:代表取締役社長 森 豊隆

本社所在地:東京都千代田区富士見二丁目 14 番 37 号

事業内容:持株会社(SMO 事業、メディカルサポート事業、医薬品等の販売事業を傘下に保有する。)

ダイナベック株式会社

設立:平成 15 年9月5日

代表者:代表取締役社長 長谷川 護

本社所在地:茨城県つくば市大久保6番

事業内容:遺伝子医薬品、細胞・再生医療、バイオ製品の研究開発と販売等

以 上